



## 校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ⑪

令和2年8月28日（金）

### 「やさしさと厳しさと2」

いよいよ、来週は学年別クラスマッチ「スポーツフェスティバル2020」です。この学校行事は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で鳳雛祭も体育祭も中止になった今年、本校最大のイベントになります。だからこそ、宗高生・宗中生全員の力で、この今年最大のイベントを大成功させましょう！

それには、ひとり一人の“高い意識”こそが一番大事です！ それしかありません！！

(1) 絶対に！新型コロナウイルス感染や熱中症、大きなけがをする人を出さない！

- ① 万全の体調管理をして、少しでも体調に心配があるときには勇気をもって休む。
- ② 先日配布した「スポーツフェスティバル2020に向けて」「スポーツフェスティバル2020 応援等のルール」「保健だより」を熟読し、ひとり一人がそれを厳守・実行する。

この2つをしっかりと実行することが、みなさん一人一人の「責任」であり、このイベントに求められる「厳しさ」であるのだと思います。

(2) このイベントの運営に関わってくれている生徒会や実行委員、体育委員のみんなに感謝する。

運営に関わってくれているみなさんも本当はみんなと一緒に楽しみたいはずですが、それを自分の楽しみは後回しにして、みんなのために準備から当日の運営まで一生懸命にやってくれています。そのことを私たちは決して忘れてはなりません！

どんなイベントも、見えないところで支えてくれている人たちがいなければうまくいくことは決してありません。宗高生・宗中生は、そういう人たちの存在に気づき、そのことに感謝できる人たちであると信じています。

(3) 宗高生・宗中生の一人の例外もなく、この「スポーツフェスティバル2020」が「本当に楽しかった！いい思い出になった！」と言えるようにする。

このようなイベントは、一部の人だけが楽しんでも何の意味もありません！それぞれのみなさんの参加の仕方、楽しみ方で、参加したすべての人が「楽しかった！」と感じて初めて、そのイベントは成功と言えるはずですが。そのためには、日頃の親しいとか親しくないとかに関わ

らず、前向きで元気が出る言葉で、お互いに声を掛け合うことが一番です。

この(2)(3)は、このイベントに求められる「やさしさ」に他なりません。

前回の「校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ⑩」で、ソフトバンク・ホークスの柳田選手について「後輩に対しては、相手の立場に立って考え、それを実行できる『やさしさ』と、同世代に対しては信頼関係の上に立って、自分の置かれた立場を踏まえ、チームメイトを代表して敢えて苦言を呈する『厳しさ』を持つ。こんな存在があるからこそ、ソフトバンク・ホークスは『チーム』として強さを発揮しているのだと思います。」と述べました。

その試合から丁度2週間後。8月25日の対オリックス・バファローズ戦で、前回不甲斐ない投球をして柳田選手から「厳しい」言葉をかけた千賀投手は、気迫あふれる今シーズン最高のピッチングで7回を投げ抜き見事勝利投手となりました。また、前回2つのエラーで大量失点を招いたにもかかわらず、柳田選手から次につながる「やさしい」言葉をかけてもらった川瀬選手は、8日にはこの日2本目となるタイムリーヒットでダメ押し打を放ち、この日のチームの勝利を決定させました。

この日の千賀投手、川瀬選手2人の活躍は、8月11日の試合での柳田選手の千賀投手への「厳しさ」と川瀬選手への「やさしさ」に対するこの2人からの「答」だったのだと思います。それは、この2人が柳田選手の言葉の真意をしっかりと理解し、それを真摯に受け止めていたからに違いありません。そこに、この3人の間の強い信頼関係とお互いのリスペクトを感じずにはおれませんでした。

自分の立場からチームメイトに「厳しさ」と「やさしさ」をしっかりと伝え、そうしてくれた人の気持ちを前向きにしっかりと受け止め、それを自らの行動によって「応える」人たち。こんな人たちがいる「チーム」だからこそ、本物の「強さ」を発揮するのだと思い、本当に感動した試合でした。

来週の「スポーツフェスティバル2020」で、宗高生・宗中生の本物の「やさしさ」と、信頼関係と互いのリスペクトに根ざした「厳しさ」を発揮して、真に強い「チーム」宗高・宗中の姿を見せてください。

校長 深瀬 信也